平成２８年度　第６学年　授業改善推進プラン

教科	1学期に実施した課題と工夫	課題を受けた今後の改善策
国語	【課題】 ☆「話すこと・聞くこと」についての能力を向上させたい。 ・相手の目的や意図をつかみながら聞く能力や態度の向上 ・計画的に話し合う能力を高めていきたい。 【工夫】 ☆補助資料の活用 ・聞く態度や聞く視点を示しながら児童に意識化を図った。 ・流れや話の中心を意識させながら話し合い活動を進めた。	☆補助資料の活用 ・ワークシート等で聞く視点についての習熟を図るとともに態度等を練習し身に付けさせる。 ☆相互の学び合いと手立て ・様々な話し合いのパターンを示し、練習することで、話し合いの目的や進行方法を身に付けさせる。
社会	【課題】 ☆多面的な視点から社会的事象を思考・判断・表現できるようにさせたい。 ・社会的事象について、知識の理解だけでなくデータなどを基に思考し、表現できる力を向上させる。 【工夫】 ☆相互の学び合いと手立て ・時代背景、外国からの視点など広い視野から歴史的事実を捉えさせ、それに至る経緯を考えさせる活動を行った。	☆相互の学び合いと手立て ・時間軸だけでなく、様々な国からの視点や様々な身分の人々からの視点など、さらに多面的・多角的な視野から広く物事を考えられるようにする。 ☆補助資料の活用 ・グラフや表、場面絵などを見て考える場合、何を基にどのような視点で見るかというポイントを示しながら、自分で要点を発見できるようにその都度練習する活動を取り入れる。
算数	【課題】 ☆多様な考え方やよりよい方法を考えられるようにしたい。 ・知識や処理についてより確実な定着を図るために、一つの考え方や解法だけでなく様々な可能性を探り、取り組める力を育てる。 【工夫】 ☆教材の開発と工夫 ・一つの方法では解答が出ない問題、いくつかの解答の中からよりよい解答を選ぶ問題など、問題作りを工夫することで思考を働かせる活動を行った。	☆指導目標の明確化と学習の見通し ・教師の指示により、多様な考え方やよりよい方法を見付けさせるのではなく、児童がその必要性を認めて主体的に取り組めるような授業の展開を工夫していく。 ☆相互の学び合いと手立て ・自分で理解し、処理できる段階で終わらせず、他に教えたり説明したりする活動を毎回取り入れることで、表現力の向上を図るだけでなく、理解の定着を図る。
理科	【課題】 ☆主体的に実験の道筋を探り、深く考察できる力をつける。 ・自然の現象についてしっかりと仮説を立て、実験をする道筋を大事にし、実験の意味を理解させる。仮説をもとに実験結果について深く考えられるようにする。 【工夫】 ☆指導目標の明確化と学習の見通し ・身近な事象を扱うことで児童に理解されやすく、興味や関心も高まり、実学としての意識で学習に取り組めた。	☆指導目標の明確化と学習の見通し ・単元内容から外れない部分で児童が疑問をもち、解明したいと思われる内容を事前に検討し、それに合わせた実験にも対応できるように準備をしておく。 ☆相互の学び合いと手立て ・結果から何が言えるかということだけでなく、どのような仮説を立て、なぜこの方法で実験したのかということを常にふり返らせて、様々な条件等を考えながら取り組めるようにする。
体育	【課題】 ☆友達と協力しながらよりよい方法を考え実践できる力をつける。 ・個人の技量を高めるだけでなく、仲間と協力しながら取り組み、よりよい方法について考えて実践できるような集団にしていきたい。 【工夫】 ☆相互の学び合いと手立て ・集団で取り組む活動を多くし、性別や技量の差を生かして様々な視点からアドバイスし合える活動を行った。	☆教材の開発と工夫 ・効果的なアドバイスができるように、評価者の見る場所、見るべき点などを授業の中でできるだけ多く示し、どのようにすればよいのかを理解し、アドバイスし合える力をつける。 ☆補助資料の活用 ・友達の特性や技量などをもとにしながら、チームとして最善の活動ができるようにするために、学習単元に関するアンケートや話し合いの場面をとりながら、メンバー一人一人が活躍できる場や役割を分担し、協力できる環境をつくる。

今年度の成果と課題

【成果】

【課題】